木村　久雄

①公明党議員会
②閑馬町１０００-１
③（65）１７２９
④地球温暖化等の影響で、物価が高騰し市民生活の環境も大きく変わりつつある中、世界では、環境が破壊され洪水・山火事などの異常気象が頻発しています。本市においてもCO_2削減などの脱炭素化の推進や少子高齢化に伴う福祉・医療の充実、そして、次の時代を築くための子育て・教育環境の更なる充実が、喫緊の課題と感じます。

私は、小さな声に耳を傾け、市政に反映させるため、市民の夢が実現出来るよう全力で取り組んでまいります。

田所　良夫

①新政クラブ
②赤見町３２５６
③（25）０２３３
④少子高齢化・人口減少社会を迎え、少子化対策は急務であろうと考えます。そのため子育て支援環境整備に取り組むと共に、本市の推進テーマは定住促進であります。

ゆえに高質な雇用創出環境整備のため、企業誘致を行うこと。そのためには、産業団地開発等の推進は急務であります。出流原PA周辺Aゾーン開発断念による新規企業誘致用地の開発等について取り組んでまいります。

鈴木　靖宏

①新政クラブ
②越名町３１３
③（87）４１１５
④今年は元号昭和で数えますと、100年となります。佐野市も二十歳から二十一歳になる年です。乙巳（きのとみ）の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年と言われております。

現在の佐野市政運営は、産業団地開発の中止や指定管理者の破綻問題等で停滞している状況を多くの市民の方が感じていることでしょう。新年にあたり、新鮮な行政運営の始まりが進むように皆さんと「令和の改新」を進めてまいります。